

発見! 探検! 射水の遺跡

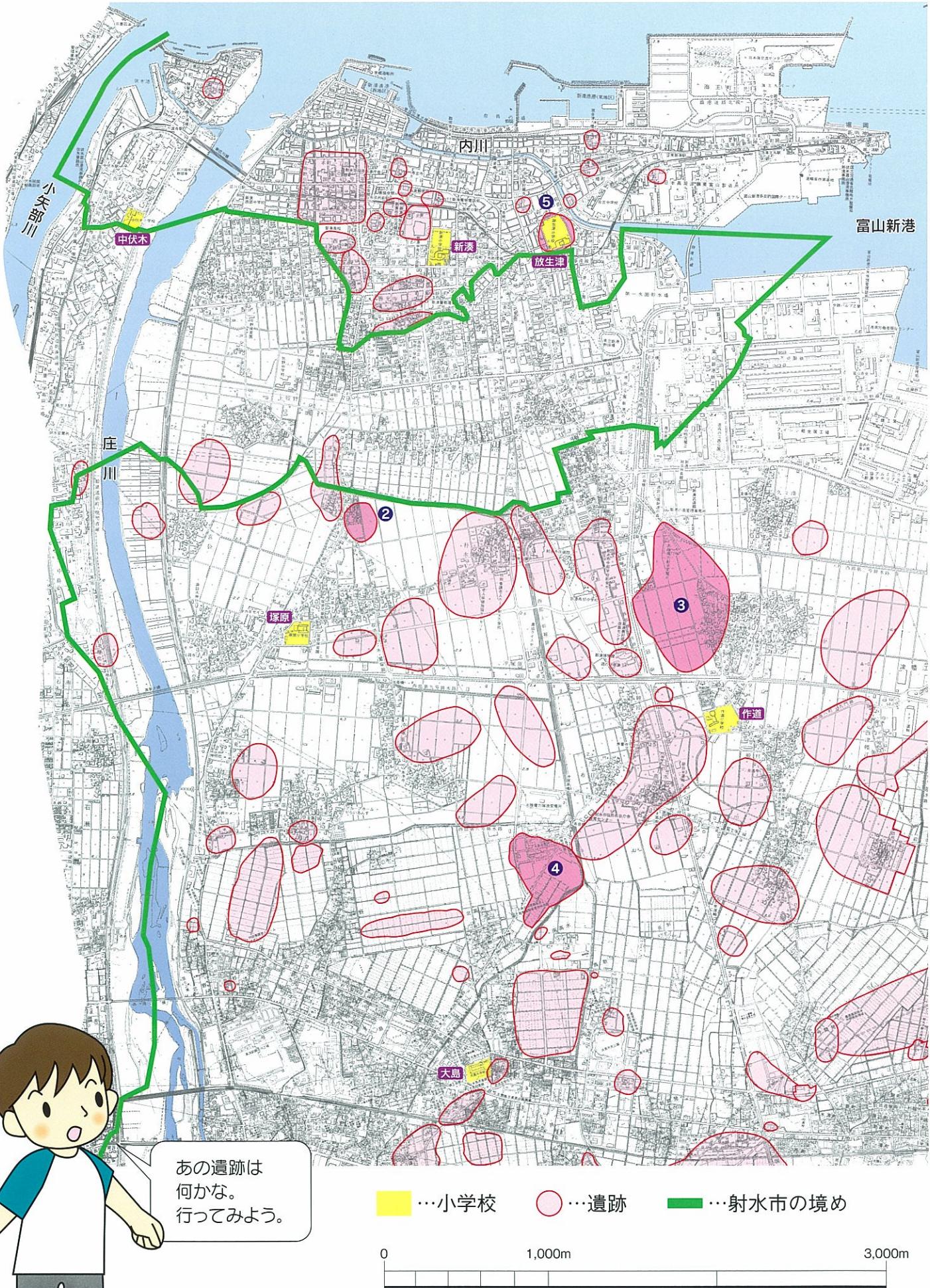
い
みず
い
せき
私たちのまちに残る遺跡を調べてみよう

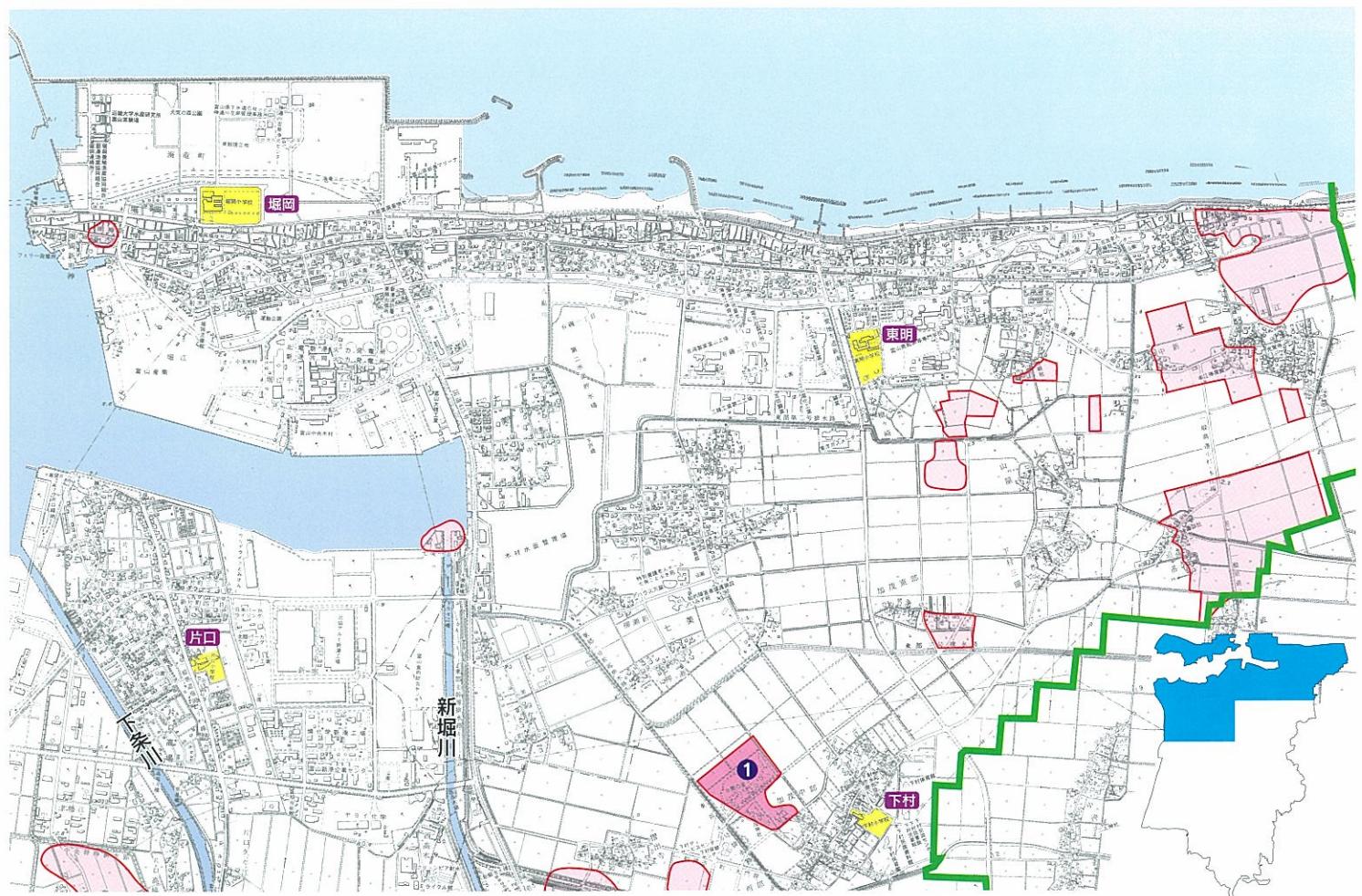


アミズムズル



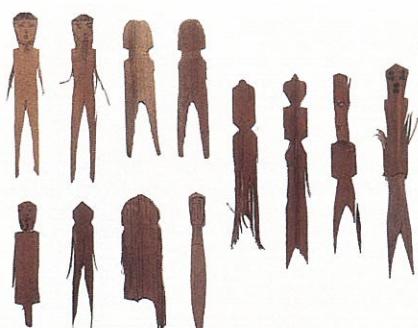
まちの遺跡を探検しよう！





①下村加茂遺跡【弥生時代】

今から約2,200年も前の農具
や漁具が見つかりました。



④北高木遺跡【奈良～平安時代】

ひとがた
人形という木の道具で、病気を
治すために使われました。



②松木遺跡【弥生時代】

住居跡の周りの地面をほり下げ、
みぞで丸く囲まれていました。



③作道遺跡【弥生時代】

つぼ
壺や甕などの器(土器)が
多く見つかりました。

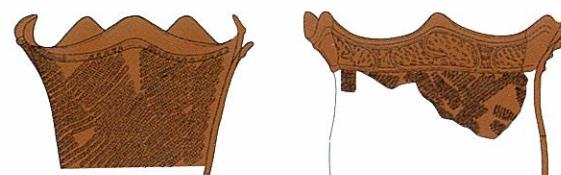
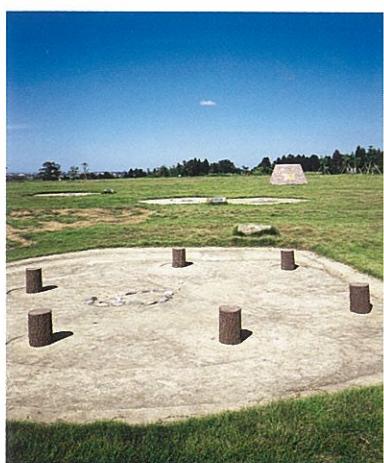
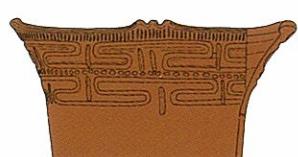
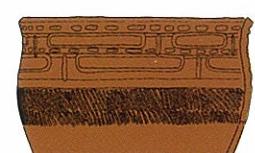
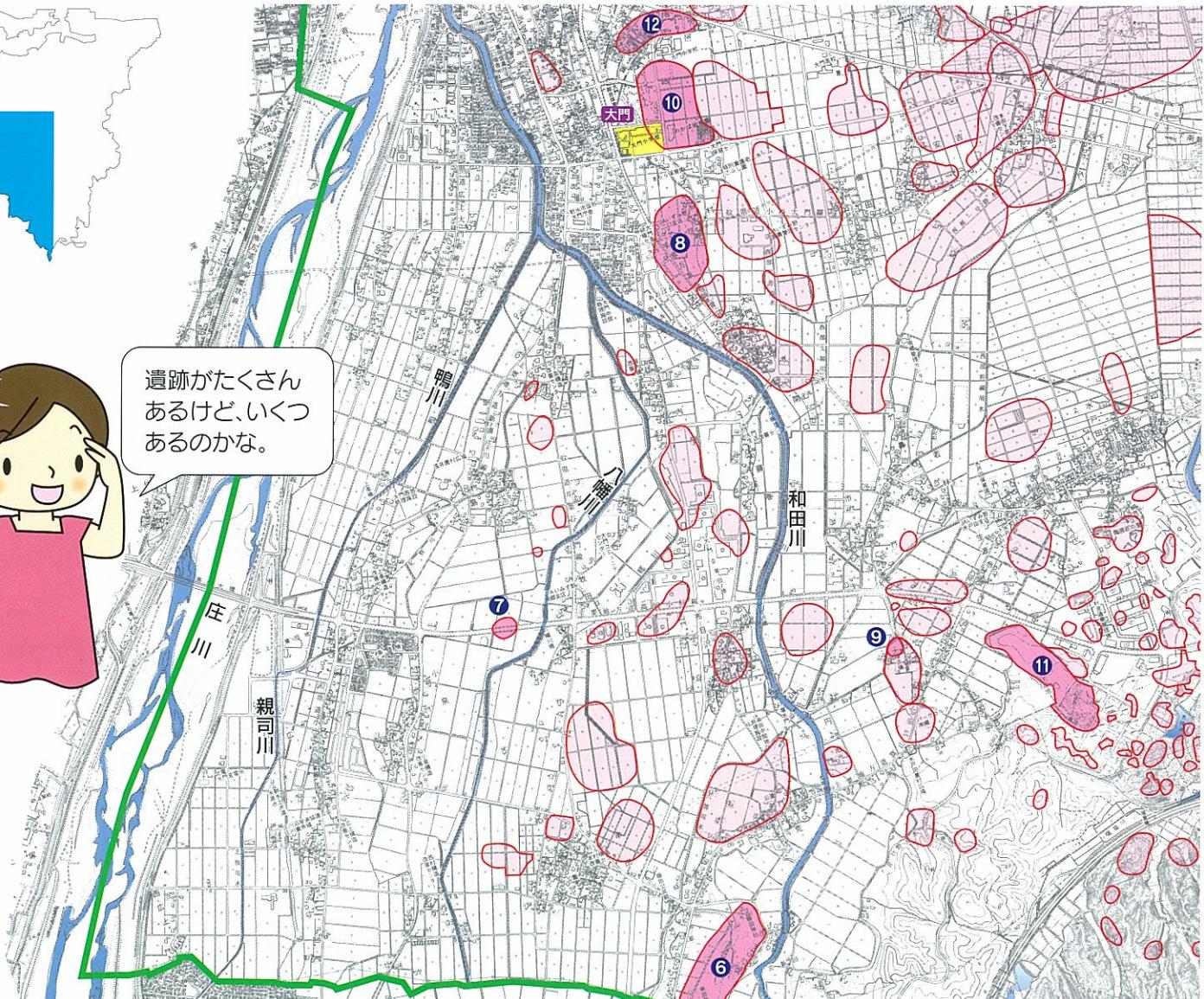


⑤放生津城跡【戦国時代】

むろまちばくふ
室町幕府・第10代将軍の、足利
よしき
義材が住んでいました。

大昔の人々は、どのような
くらしをしていたのかな。





⑥串田新遺跡【縄文時代】

今から約4,500年前のむらが見つかりました。
このころ使われていた土器には、縄をおしつけた
あとがあることから、縄文土器(串田新式)とよば
れます。今は串田新遺跡公園になっています。

いろんな時代の遺跡があるんだね！



⑦小泉遺跡【縄文時代】

縄文時代から、うずまき○や三角形△のアイデアをもつていてることが分かりました。



⑧本江畠田Ⅰ遺跡【弥生~古墳】

勾玉・管玉とよばれるアクセサリーやその破片です。近くに古墳があるのかも？



⑨大塚古墳【古墳時代】

今から約1,600年前につくられた、豪族の墓です。約37mの円形をしています。



⑩二口油免遺跡【古墳時代】

いっぺんが約19mで、正方形の形をした古墳です。遺体を安置した小山はなくなっています。



⑪小杉丸山遺跡【古墳~奈良時代】

今から約1,400年前の器や瓦を焼いた窯がみつかりました。中国や朝鮮半島などから日本にきた渡来人が伝えた技術がえいきょうしています。



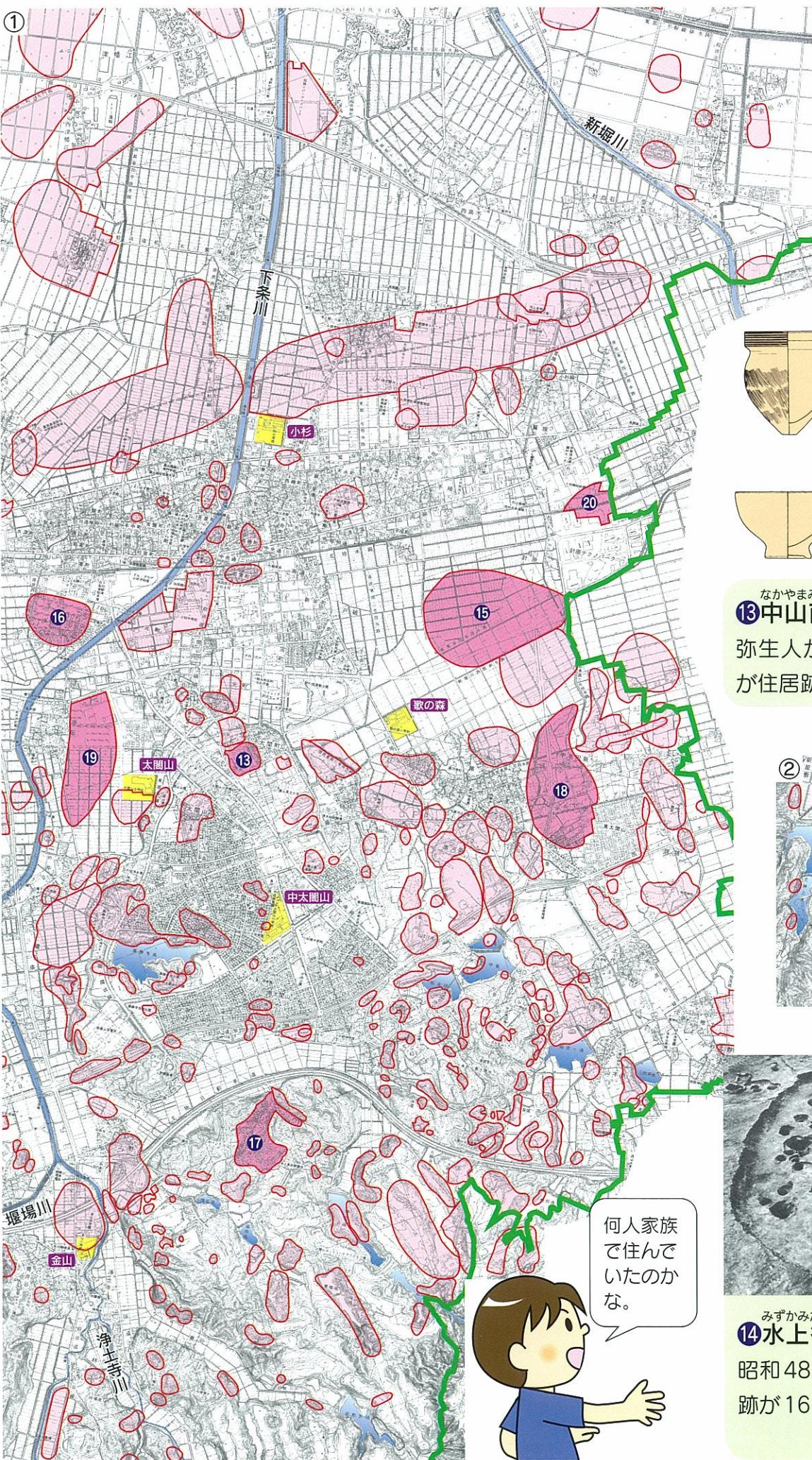
⑫八塚C遺跡【戦国時代】

今から約500年前にあった「愛染坊」という名前の寺がみつかりました。大きさ約5cmの小さな仏像は、見つけたときはこんなにピカピカでした。

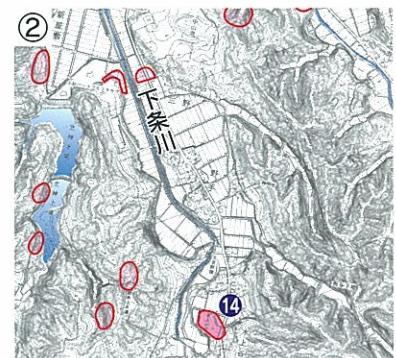


私たちが住んでいるまちには、いつごろから人々が生活を始めたのだろう。





なかやまみなみ いせき
13中山南遺跡【弥生～古墳時代】
うつわ どき
弥生人が使っていた器(土器)
が住居跡から見つかりました。



みずかみだに いせき
14水上谷遺跡【縄文時代】
昭和48年の調査で大きな住居
跡が16棟見つかりました。

私たちのまちにも遺跡があるんだね！



15針原西遺跡【縄文時代】

今から約4,500年前に流れていた川の底から、シジミやカキの貝殻が多く見つかりました。他には、石で作られた指輪や土で作られた土偶とよばれる人の体を表現したものも見つかりました。



土偶



16小杉伊勢領遺跡【弥生～古墳】

壺の表面に弥生人がかいた絵が見つかりました。富山県でひとつしかないそうです。



17天池C遺跡【奈良～平安時代】

山の斜面を利用して、器を焼いていた窯が見つかりました。器にはさまざまな形のものがあり、大きな甕は、ふろのお湯(約200㍑)が全部はいります。



18黒河尺目遺跡【奈良～平安時代】

穴が同じ間隔であいているのが建物の柱の場所で、畳76枚分の広さがありました。



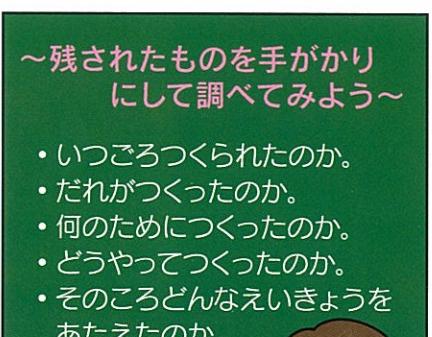
19赤田I遺跡【奈良～平安時代】

漢字から平がなへくずしていく途中の「草がな」という文字が見つかりました。



20針原東遺跡【鎌倉～室町時代】

井戸は底まで2.4mありました。土がくずれてこないように木わくで囲まれていました。



この年表は、おもに、教科書に出ていることがらを年代順にならべたものです。
赤い字は、時代の変わり目に当たるできごとをあらわしています。

年	時代	社会のできごと	文化のできごと	教科書に出てくる人物	本書に出てくる遺跡
300年	日本の成り立ち 古墳時代	<ul style="list-style-type: none"> かりや漁の暮らし(約1万年の間続く) 今から2300年ほど前、米づくりが大陸から伝わる 小さなくにがあちらこちらにできる <p>やまとちょうてい 大和朝廷の国土統一が進む</p>	<ul style="list-style-type: none"> たて穴住居、土器や鉄器・青銅器 古墳が各地につくられる 漢字が大陸から伝わる 仏教が大陸から伝わる 	ひみこ 卑弥呼	くしたしんいせき 串田新遺跡 こいすいいせき みすかみだいいせき 小泉遺跡 水上谷遺跡 はりわらにしいせき 針原西遺跡 しもむらかものいせき 下村加茂跡 まつつきいせき 松木遺跡 つりみちいせき 作道遺跡 ほんこうはだいちいせき 本江畑田遺跡 なかやまなみいせき 中山南遺跡 こすいりょういせき 小杉伊勢領遺跡 おおつかこぶん 大塚古墳 ふたくちあらめいせき 二口油免遺跡
400					
5					
6					
600					
7					
700	時代奈良	<p>聖徳太子が17条の憲法を定める(604)</p> <ul style="list-style-type: none"> 中国(隋、唐)に使いを送るようになる 大化の改新(645) <p>奈良に都を移す(710)</p> <p>京都に都を移す(794)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 法隆寺を建てる(607) 「古事記」、「日本書紀」ができる 東大寺の大仏ができる(752) 	聖徳太子 小野妹子 藤原鎌足 天智天皇 聖武天皇 行基 鑑真 山上憶良	しうとくたいし 聖徳太子 おのいもこ 小野妹子 ふじらかわまたり 藤原鎌足 てんじてんのう 天智天皇 しいうてんのう 聖武天皇 きょうき 行基 がんじん 鑑真 やまのうのおくら 山上憶良 きたかきいせき 北高木遺跡 こすぎまるやまいせき 小杉丸山遺跡 あまいせい 天池C遺跡 くろがわじくめいせき 黒河尺目遺跡 あかんだいちいせき 赤田I遺跡
8					
800					
9	貴族の世の中	藤原氏が初めて摂政になる(866)			
10	平安時代				
1000					
11					
1100					
12	鎌倉時代	<p>藤原道長が摂政になる(1016)</p> <ul style="list-style-type: none"> 藤原氏が栄える 武士の力が強くなる 平氏が栄える <p>源氏が平氏をほろぼす(1185)</p> <p>源頼朝が鎌倉に幕府を開く(1192)</p>	<ul style="list-style-type: none"> かな文字の使用が広まる 日本風の文化が育つ 「枕草子」ができる 「源氏物語」ができる 	藤原道長 清少納言 紫式部 平頼朝 源義經 北条政子 北条時頼 北条時宗	ふじわらのみちなが 藤原道長 せいしゅうなごん 清少納言 むらさきしきぶ 紫式部 たいらの平 みなとの源 みなとの源 ほうじょうまさこ 北条政子 ほうじょうときより 北条時頼 ほうじょうときむね 北条時宗 ほうじょうづじょあど 放生津城跡 やづかしいいせき 八塚C遺跡 はりわらひがしいせき 針原東遺跡
1200					
13		元が2度もせめてくる(1274、1281)			
1300					
14	南北朝時代	鎌倉幕府がほろびる(1333)			
1400	室町時代	足利尊氏が京都に幕府を開く(1338)			
15	武士の世の中へ	<ul style="list-style-type: none"> 南朝と北朝の対立が続く 農村に自治がめばえる 各地に大名が生まれる <p>応仁の乱がおこる(1467)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 金閣ができる(1397) 	足利義満 雪舟 足利義政	あしかがよしまつ 足利義満 せっしゅう 雪舟 あしかがよしまさ 足利義政 ほうじょうづじょあど 放生津城跡 やづかしいいせき 八塚C遺跡 はりわらひがしいせき 針原東遺跡
1500		織田信長が室町幕府をほろぼす(1573)			
16	時代安土桃山時代	豊臣秀吉が全国を統一する(1590)	<ul style="list-style-type: none"> 銀閣ができる(1489) 鉄砲が伝わる(1543) キリスト教が伝わる(1549) 	ザビエル 今川義元 織田信長 明智光秀 豊臣秀吉 徳川家康 伊能忠敬 大塩平八郎	ザビエル いまがわしもと 今川義元 おだのぶなが 織田信長 あけちみつひで 明智光秀 とよとみでよし 豊臣秀吉 とくがわいえやす 徳川家康 とくがわいえみつ 徳川家光 いのうだたか 伊能忠敬 おしおいはらう 大塩平八郎 ペリー
1600		徳川家康が江戸に幕府を開く(1603)			
17		参勤交代の制度が定められる(1635)			
1700		島原・草薙一揆(1637)鎖国が完成する(1639)			
18	江戸時代	<ul style="list-style-type: none"> ききんが続き、一揆や打ちこわしが多くなる ペリーが浦賀に来る(1853) <p>各国と通商条約を結ぶ(1858)</p> <p>薩摩藩と長州藩が連合する(1866)</p> <p>明治維新、江戸を東京とする(1868)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 町人の力がのび、町人の文化が栄える 	ペリー	
1868					

※『新編 新しい社会6上』東京書籍 平成16年3月10日検定済を加筆・引用した。